

(0) 検索条件

検索条件	入力値
キーワード	
回	第102回/第101回/第100回
種類	一般
必修問題	必修問題のみ
出題形式	X2/A/K3/K2
検索結果のシャッフル	シャッフルしない
検索結果の最大件数	100
正解した問題を省く	省かない

(1) 問題一覧

問題ID	実施回	グループ	No.	本文
1	102	C	1	我が国のホスピスで正しいのはどれか。
2	102	C	2	ヘルシンキ宣言はどれか。
3	102	C	3	母親のみに由来するのはどれか。
4	102	C	4	異状死と認めた場合、いつまでに所轄警察署に届け出…
5	102	C	5	幻覚を認めないのはどれか。
6	102	C	6	障害を受けると嗚声をきたすのはどれか。
7	102	C	7	健常成人で正しいのはどれか。
8	102	C	8	組合せで誤っているのはどれか。
9	102	C	9	診療ガイドラインについて正しいのはどれか。
10	102	C	10	成人の一次救命処置で正しいのはどれか。
11	102	C	11	尿毒症でみられないのはどれか。
12	102	C	12	右鼠径・大腿部の写真(別冊No.1)を別に示す。…
13	102	C	13	チーム医療で正しいのはどれか。
14	102	C	14	病気の予後についての医師の説明に対して、患者があ…
15	102	C	15	『養生訓』を著したのは誰か。
16	102	F	1	医療機関に対する患者の権利でないのはどれか。
17	102	F	2	施設内倫理委員会の役割に含まれるのはどれか。
18	102	F	3	死体検案書について正しいのはどれか。
19	102	F	4	体重減少が摂食量の低下によらないのはどれか。
20	102	F	5	吐血が主訴となるのはどれか。

21	102	F	6	産褥について正しいのはどれか。
22	102	F	7	婦人科診察時の双合診で正しいのはどれか。
23	102	F	8	血球検査で正しいのはどれか。
24	102	F	9	ある疾患の検査前確率が20%であり、その後の検査結...
25	102	F	10	労作性狭心症で正しいのはどれか。
26	102	F	11	清潔操作が必要ないのはどれか。
27	102	F	12	腰椎穿刺で誤っているのはどれか。
28	102	F	13	肥満患者の減量に対する支援効果が最も期待できるのは...
29	102	F	14	医師の職業倫理としてふさわしくないのはどれか。
30	102	F	15	「治すこと時々、和らげることしばしば、慰めるこ...
31	102	H	1	医の倫理として誤っているのはどれか。
32	102	H	2	重量物を取り扱う姿勢で、腰部への負荷が少ないのはど...
33	102	H	3	医療面接を行う上での医師の心がけとして適切でないの...
34	102	H	4	頸部の写真(別冊No.1)を別に示す。消化管癌の転...
35	102	H	5	無月経と関連が深いのはどれか。
36	102	H	6	下痢をきたしやすいのはどれか。
37	102	H	7	世界保健機関が標準とした血圧測定時の体位はどれか。...
38	102	H	8	甲状腺腫瘍の触診の際に患者に行わせるのはどれか。
39	102	H	9	Babinski徴候を誘発するほうほう(別冊No....
40	102	H	10	写真(別冊No.3)は何をしているところか。
41	102	H	11	乳児の血液検査で基準値が成人よりも高いのはどれか。...
42	102	H	12	高二酸化炭素血症を認める慢性閉塞性肺疾患患者で意識...
43	102	H	13	頭部単純CT(別冊No.4 A、B)を別に示す。病...
44	102	H	14	HBs抗原陽性の入院患者を診療する際の感染対策とし...
45	102	H	15	浮腫の原因とならないのはどれか。
46	102	H	16	生活に困窮している国民に医療を保障している制度はど...
47	102	H	17	ある生活習慣による臓器別の発がん相対危険度(No....
48	102	H	18	PDCAサイクルについて正しいのはどれか。
49	102	H	19	高齢者の転倒で骨折が最も起こりやすいのはどれか。
50	102	H	20	インフォームドコンセントで正しいのはどれか。
51	101	C	1	治験について正しいのはどれか。
52	101	C	2	医学研究に関する世界医師会ヘルシンキ宣言について誤...
53	101	C	3	診療録に関して誤っているのはどれか。
54	101	C	4	死体検案で正しいのはどれか。
55	101	C	5	患者の権利でないのはどれか。
56	101	C	6	成人患者が手術の当日に「手術は死んでもいやです」と...
57	101	C	7	分娩経過に影響しないのはどれか。
58	101	C	8	正常新生児で正しいのはどれか。

59	101	C	9	成人の安静時で異常値はどれか。
60	101	C	10	一般外来における初診患者に対し、本人の確認を行った…
61	101	C	11	医療面接での医師の態度として適切なのはどれか。
62	101	C	12	嘔声について正しいのはどれか。
63	101	C	13	癌の転移によるリンパ節腫脹の特徴はどれか。
64	101	C	14	膨疹の特徴はどれか。
65	101	C	15	症候と病態の組合せで誤っているのはどれか。
66	101	C	16	v痒を生じることが多いのはどれか。
67	101	C	17	蛋白尿について正しいのはどれか。
68	101	C	18	脱水の症候として特徴的なのはどれか。
69	101	C	19	新生児の呼吸困難を表す症候はどれか。
70	101	C	20	胎児発育に必須の胎児臓器はどれか。
71	101	C	21	Ⅲ音の聴取で正しいのはどれか。
72	101	C	22	打診で鼓音を呈するのはどれか。
73	101	C	23	筋性防御を伴わないのはどれか。
74	101	C	24	徒手筋力テストで重力に抗して完全に運動できる最小の…
75	101	C	25	「イー」と言わせたととき、口角に左右差がみられる患者…
76	101	C	26	10か月の乳児の発達評価に適しているのはどれか。
77	101	C	27	溶血が検査値に影響を与えるのはどれか。
78	101	C	28	免疫法による便潜血検査の特徴はどれか。
79	101	C	29	急性上部消化管出血の診断で、上部内視鏡検査の感度は…
80	101	C	30	関節痛患者の診断について、指導医が「この検査が陰性…
81	101	C	31	事前確率が変わると変化するのはどれか。
82	101	C	32	血液検査で食後に増加しないのはどれか。
83	101	C	33	頭部単純CT(別冊No.1)を別に示す。診断は…
84	101	C	34	AEDを用いた除細動に関して正しいのはどれか。
85	101	C	35	駅の構内で中年男性が倒れているのを発見した。まず行…
86	101	C	36	肝硬変の検査所見で正しいのはどれか。
87	101	C	37	片頭痛でみられないのはどれか。
88	101	C	38	仕事ができないという患者の訴えで、うつ病の可能性が…
89	101	C	39	特発性てんかんで正しいのはどれか。
90	101	C	40	清潔に手袋を装着する操作(別冊No.2①～⑤)を別…
91	101	C	41	中間型インスリン製剤の正しい注射部位はどれか。
92	101	C	42	褥瘡への対応で正しいのはどれか。
93	101	C	43	地域医療現場におけるチーム医療で適切なのはどれか。…
94	101	C	44	ある死因の性別年次死亡者数推移(別冊No.3A)と…
95	101	C	45	不眠を訴える患者の生活指導で適切なのはどれか。
96	101	C	46	成人患者の自己決定権を尊重する理由はどれか。

97	101	C	47	行動変容の援助に当たって望ましくないのはどれか。
98	101	C	48	組合せで誤っているのはどれか
99	101	C	49	日本とアメリカ、ドイツ、フランスおよびイギリスとの・・・
100	101	C	50	死にゆく人の心の動きを、否認、怒り、取引、抑うつ・・・

(2) 問題

【問題ID:1】 第102回 グループ C No. 1 [必修] [一般]

我が国のホスピスで正しいのはどれか。

- a 対象疾病は悪性腫瘍に限られる。
- b 保険診療の対象とならない。
- c 宗教的行事は禁止される。
- d 筋弛緩薬を多用する。
- e 終末期医療を行う。

【問題ID:2】 第102回 グループ C No. 2 [必修] [一般]

ヘルシンキ宣言はどれか。

- a 患者の権利の基本原則
- b 安楽死に関する基本原則
- c 地球環境保全の行動指針
- d 医師の国際雇用の倫理ガイドライン
- e ヒトを対象とする医学的研究の倫理的原則

【問題ID:3】 第102回 グループ C No. 3 [必修] [一般]

母親のみに由来するのはどれか。

- a X染色体
- b Y染色体
- c リボソームRNA
- d ミトコンドリアDNA
- e メッセンジャーRNA

【問題ID:4】 第102回 グループ C No. 4 [必修] [一般]

異状死と認めた場合、いつまでに所轄警察署に届け出なければならないか。

- a 直ちに

- b 12時間以内
- c 24時間以内
- d 1週間内
- e 翌月の10日まで

【問題ID:5】 第102回 グループ C No. 5 [必修] [一般]

幻覚を認めないのはどれか。

- a せん妄
- b うつ病
- c 統合失調症
- d 覚醒剤依存症
- e アルコール依存症

【問題ID:6】 第102回 グループ C No. 6 [必修] [一般]

障害を受けると嗄声をきたすのはどれか。

- a 顔面神経
- b 舌咽神経
- c 迷走神経
- d 副神経
- e 舌下神経

【問題ID:7】 第102回 グループ C No. 7 [必修] [一般]

健常成人で正しいのはどれか。

- a 心尖拍動は前腋窩線で触知する。
- b 坐位で内頸静脈の拍動がみられる。
- c 収縮期血圧は上肢よりも下肢が高い。
- d II音は呼気時に分裂して聴取される。
- e III音はベル型聴診器よりも膜型聴診器で聴取しやすい。

【問題ID:8】 第102回 グループ C No. 8 [必修] [一般]

組合せて誤っているのはどれか。

- a マイコプラズマ・・・寒天培地
- b 結核菌・・・小川培地
- c 肺炎球菌・・・Gram染色
- d 非定型〈非結核性〉抗酸菌・・・Ziehl－Neelsen染色
- e 真菌・・・Grocott染色

【問題ID:9】 第102回 グループ C No. 9 [必修] [一般]

診療ガイドラインについて正しいのはどれか。

- a ガイドラインに従わないと医師法違反となる。
- b 画一的な診療を提供することが目的である。
- c 根拠に基づいた診療を中心に作成される。
- d 医療機関ごとに定めることとされている。
- e 患者には公開されない。

【問題ID:10】 第102回 グループ C No. 10 [必修] [一般]

成人の一次救命処置で正しいのはどれか。

- a 胸骨圧迫は剣状突起部で行う。
- b 胸骨圧迫は1分間60回の速度で行う。
- c 人工呼吸と胸骨圧迫の回数は1対5で行う。
- d 口対口人工呼吸ができなければ胸骨圧迫のみでよい。
- e 除細動をするときは患者が動かないように押さえる。

【問題ID:11】 第102回 グループ C No. 11 [必修] [一般]

尿毒症でみられないのはどれか。

- a 嘔声
- b 乏尿
- c 貧血
- d 肺水腫
- e 意識障害

【問題ID:12】 第102回 グループ C No. 12 [必修] [一般]

右鼠径・大腿部の写真(別冊No.1)を別に示す。赤い線は拍動を触れる部位を示す。大腿静脈から中心静脈カテーテルを挿入する際の刺入部位はどこか。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

【問題ID:13】 第102回 グループ C No. 13 [必修] [一般]

チーム医療で正しいのはどれか。

- a 看護師主体で構成する。

- b 職種別に記録を作成する。
- c 職種間で競争意識を持たせる。
- d 患者情報は職種間で共有する。
- e チームリーダーは医師に限る。

【問題ID:14】 第102回 グループ C No. 14 [必修] [一般]

病気の予後についての医師の説明に対して、患者があいまいな説明と感じた。最もよくみられる患者の反応はどれか。

- a 不穏
- b 失神
- c 不安
- d 逃避
- e めまい

【問題ID:15】 第102回 グループ C No. 15 [必修] [一般]

『養生訓』を著したのは誰か。

- a 伊藤仁齋
- b 上田秋成
- c 貝原益軒
- d 杉田玄白
- e 本居宣長

【問題ID:16】 第102回 グループ F No. 1 [必修] [一般]

医療機関に対する患者の権利でないのはどれか。

- a 治療法を選択する。
- b 診療録の記載内容を知る。
- c セカンドオピニオンを得る。
- d 診療報酬明細書の内容を知る。
- e 疾病に伴う逸失利益の補償を得る。

【問題ID:17】 第102回 グループ F No. 2 [必修] [一般]

施設内倫理委員会の役割に含まれるのはどれか。

- a 施設職員の倫理規定の策定
- b 施設職員に対する接遇教育
- c 地域住民に対する倫理教育
- d 施設内の患者に起きた感染事故の原因調査
- e 施設内の患者を対象とした研究の倫理審査

【問題ID:18】 第102回 グループ F No. 3 [必修] [一般]

死体検案書について正しいのはどれか。

- a 死因統計の資料となる。
- b 歯科医師も交付できる。
- c 直接死因は警察官が決定する。
- d 検案日と検案書発行日は同一である。
- e 検案をした医師以外の医師も交付できる。

【問題ID:19】 第102回 グループ F No. 4 [必修] [一般]

体重減少が摂食量の低下によらないのはどれか。

- a うつ病
- b 食道癌
- c 消化性潰瘍
- d アルコール依存症
- e 甲状腺機能亢進症

【問題ID:20】 第102回 グループ F No. 5 [必修] [一般]

吐血が主訴となるのはどれか。

- a 食道静脈瘤
- b 急性腸炎
- c 腸閉塞
- d 急性胆嚢炎

e 急性膀胱炎

【問題ID:21】 第102回 グループ F No. 6 [必修] [一般]

産褥について正しいのはどれか。

- a 血栓塞栓症の発症は妊娠中よりも多い。
- b 産褥出血の原因は頸管裂傷が最も多い。
- c 初乳中の蛋白質は成熟乳中よりも少ない。
- d 産褥熱の起因熱はグラム陽性球菌が多い。
- e 赤色悪露-黄色悪露-褐色悪露-白色悪露と変化する。

【問題ID:22】 第102回 グループ F No. 7 [必修] [一般]

婦人科診察時の双合診で正しいのはどれか。

- a 陰鏡診の前に行う。
- b 膀胱を充満して行う。
- c 正常な卵管は管状に触れる。
- d 正常な子宮は手拳大に触れる。
- e 内診指と腹壁上の外診手とで触診する。

【問題ID:23】 第102回 グループ F No. 8 [必修] [一般]

血球検査で正しいのはどれか。

- a 貧血のスクリーニング検査になる。
- b 採血にはヘパリン入り採血管を用いる。
- c 採血後には採血管を氷上に静置する。
- d 平均赤血球容積はヘモグロビン値/赤血球数で求める。
- e 網赤血球数は塗抹Giemsa染色標本で測定する。

【問題ID:24】 第102回 グループ F No. 9 [必修] [一般]

ある疾患の検査前確率が20%であり、その後の検査結果の尤度比が4の時、検査後確率はどれか。

- a 5%

- b 20%
- c 24%
- d 50%
- e 80%

【問題ID:25】 第102回 グループ F No. 10 [必修] [一般]

労作性狭心症で正しいのはどれか。

- a 発作は空腹時に起こる。
- b 痛みは呼吸で変動する。
- c 痛みは数秒間持続する。
- d 痛みは頸部や肩に放散する。
- e 針で刺すような痛みである。

【問題ID:26】 第102回 グループ F No. 11 [必修] [一般]

清潔操作が必要ないのはどれか。

- a 腰椎穿刺
- b 皮膚切開
- c 電氣的除細動
- d 胸腔ドレナージ
- e 中心静脈カテーテル挿入

【問題ID:27】 第102回 グループ F No. 12 [必修] [一般]

腰椎穿刺で誤っているのはどれか。

- a 側臥位で行う。
- b 頸、背中、腰および膝を屈曲させる。
- c 第3～4腰椎棘突起間を穿刺する。
- d 針先は尾側へ向ける。
- e 終了後安静を指示する。

【問題ID:28】 第102回 グループ F No. 13 [必修] [一般]

肥満患者の減量に対する支援効果が最も期待できるのはどれか。

- a 減量するまで通院間隔を延ばす。
- b 体重が減らない理由を問いただす。
- c できるだけ高い目標を設定させる。
- d 体重が少しでも減少したことを褒める。
- e 減量に失敗して落胆した自分を想像させる。

【問題ID:29】 第102回 グループ F No. 14 [必修] [一般]

医師の職業倫理としてふさわしくないのはどれか。

- a 社会性
- b 人間性
- c 生涯学習
- d 利他主義
- e 営利主義

【問題ID:30】 第102回 グループ F No. 15 [必修] [一般]

「治すこと時々、和らげることしばしば、慰めることいつも」との名言を遺した近代外科学の父と呼ばれているのは誰か。

- a Hippocrates (ヒポクラテス)
- b Robert Koch (ロベルト・コッホ)
- c Ambroise Pare (アンプロワズ・パレ)
- d Claude Bernard (クロード・ベルナール)
- e Edward Jenner (エドワード・ジェンナー)

【問題ID:31】 第102回 グループ H No. 1 [必修] [一般]

医の倫理として誤っているのはどれか。

- a 医学研究の科学のおよび社会的利益は被験者の福利よりも優先される。
- b 人類の健康を向上させるために医師の知識と良心を捧げる。
- c 患者は宗教的支援を受ける権利、拒絶する権利を有する。
- d 医学研究においては被験者の自発的同意が必須である。

e 社会制度が違ってても基本的人権を守る。

【問題ID:32】 第102回 グループ H No. 2 [必修] [一般]

重量物を取り扱う姿勢で、腰部への負荷が少ないのはどれか。

- a 背を少し曲げて荷物を運ぶ。
- b 腰をひねって荷物を移動させる。
- c 体幹からできるだけ離して荷物を持つ。
- d 膝を伸ばしたまま床面の荷物を持ち上げる。
- e 荷物をへその下にぴったりとつけて持ち運ぶ。

【問題ID:33】 第102回 グループ H No. 3 [必修] [一般]

医療面接を行う上での医師の心がけとして適切でないのはどれか。

- a 丁寧語や敬語を用いる。
- b 患者と視線を合わせる。
- c 患者の表情や体の動きに注意する。
- d 質問することによってできるだけ多くの時間を使う。
- e 患者の声の調子や抑揚、アクセントに注意する。

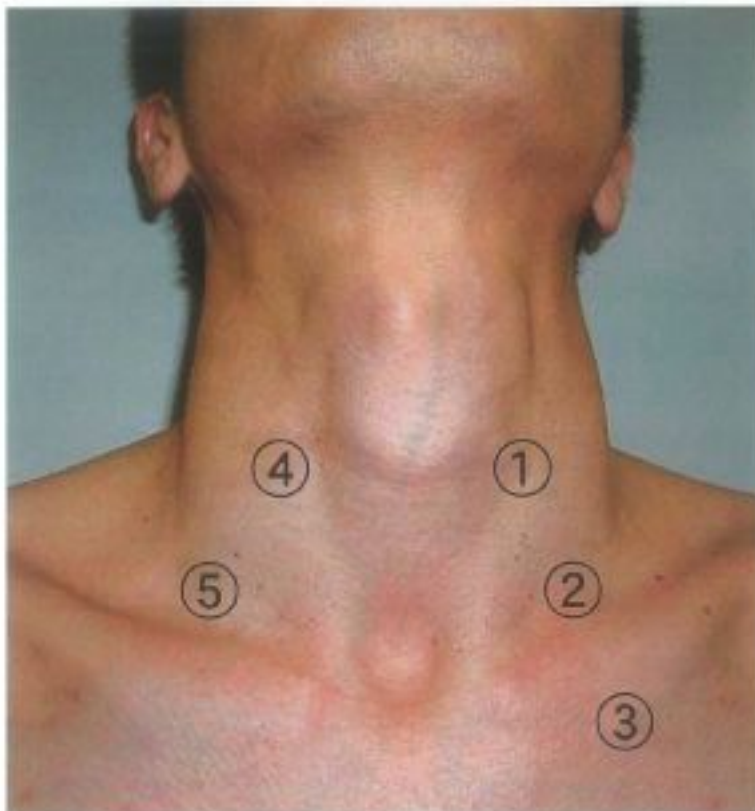
【問題ID:34】 第102回 グループ H No. 4 [必修] [一般]

頸部の写真(別冊No.1)を別に示す。

消化管癌の転移がみられやすいリンパ節の部位はどれか。

No. 1

(H: 問題4)



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

【問題ID:35】 第102回 グループ H No. 5 [必修] [一般]

無月経と関連が深いのはどれか。

- a やせ
- b 浮腫
- c 高血圧
- d 貧血
- e 蛋白尿

【問題ID:36】 第102回 グループ H No. 6 [必修] [一般]

下痢をきたしやすいのはどれか。

- a 十二指腸潰瘍
- b 過敏性腸症候群
- c 肝硬変
- d Parkinson病
- e 甲状腺機能低下症

【問題ID:37】 第102回 グループ H No. 7 [必修] [一般]

世界保健機関<WHO>が標準とした血圧測定時の体位はどれか。

- a 立位
- b 坐位
- c 仰臥位
- d 右側臥位
- e 左側臥位

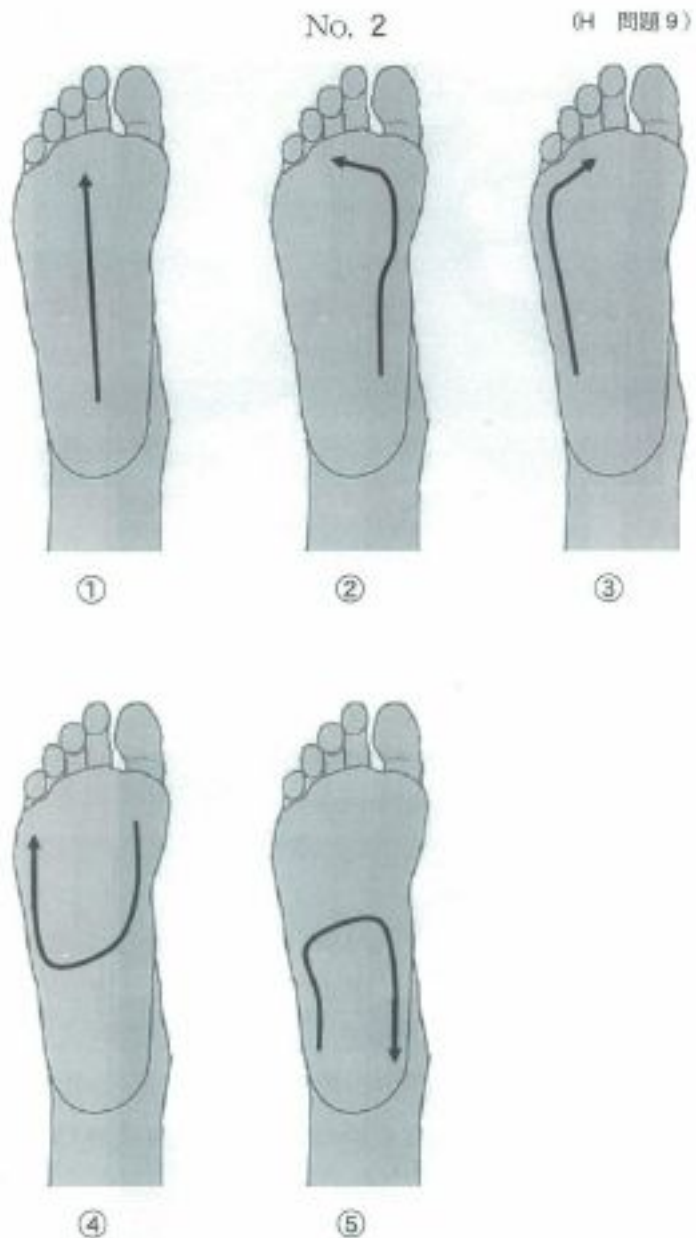
【問題ID:38】 第102回 グループ H No. 8 [必修] [一般]

甲状腺腫瘍の触診の際に患者に行わせるのはどれか。

- a 嚥下
- b 発声
- c 深呼吸
- d 頸部の回旋
- e 頸部の前屈

【問題ID:39】 第102回 グループ H No. 9 [必修] [一般]

Babinski徴候を誘発するほうほう(別冊No.2 ①～⑤)を別に示す。足底をこする方向で正しいのはどれか。



- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

【問題ID:40】 第102回 グループ H No. 10 [必修] [一般]

写真(別冊No.3)は何をしているところか。

No. 3

(H 問題10)



- a 動脈血採血
- b 動脈圧測定
- c 静脈内注射
- d 静脈血採血
- e 静脈路確保

【問題ID:41】 第102回 グループ H No. 11 [必修] [一般]

乳児の血液検査で基準値が成人よりも高いのはどれか。

- a ヘモグロビン
- b IgA
- c 尿素窒素
- d ナトリウム
- e ALP

【問題ID:42】 第102回 グループ H No. 12 [必修] [一般]

高二酸化炭素血症を認める慢性閉塞性肺疾患<COPD>患者で意識障害をきたし得るのはどれか。

- a 呼吸中枢刺激薬投与

- b 経鼻的持続陽圧呼吸療法
- c 気管切開による人工呼吸
- d 気管挿管による人工呼吸
- e フェイスマスクからの100%酸素投与

【問題ID:43】 第102回 グループ H No. 13 [必修] [一般]

頭部単純CT(別冊No.4 A、B)を別に示す。病変は何か。

No. 4 A

(H 問題13)



No. 4 B

(H 問題13)



- a 炎症
- b 外傷

- c 虚血
- d 出血
- e 石灰化

【問題ID:44】 第102回 グループ H No. 14 [必修] [一般]

HBs抗原陽性の入院患者を診療する際の感染対策として必ず行うのはどれか。

- a 病室を個室にする。
- b 病室に入るときはガウンを着る。
- c 病室に入るときはスリッパに履き替える。
- d 採血するときには手袋をする。
- e 使用済み注射針はリキャップして廃棄する。

【問題ID:45】 第102回 グループ H No. 15 [必修] [一般]

浮腫の原因とならないのはどれか。

- a β 遮断薬
- b ビタミンB1薬
- c 卵胞ホルモン薬
- d カルシウム拮抗薬
- e 非ステロイド性抗炎症薬

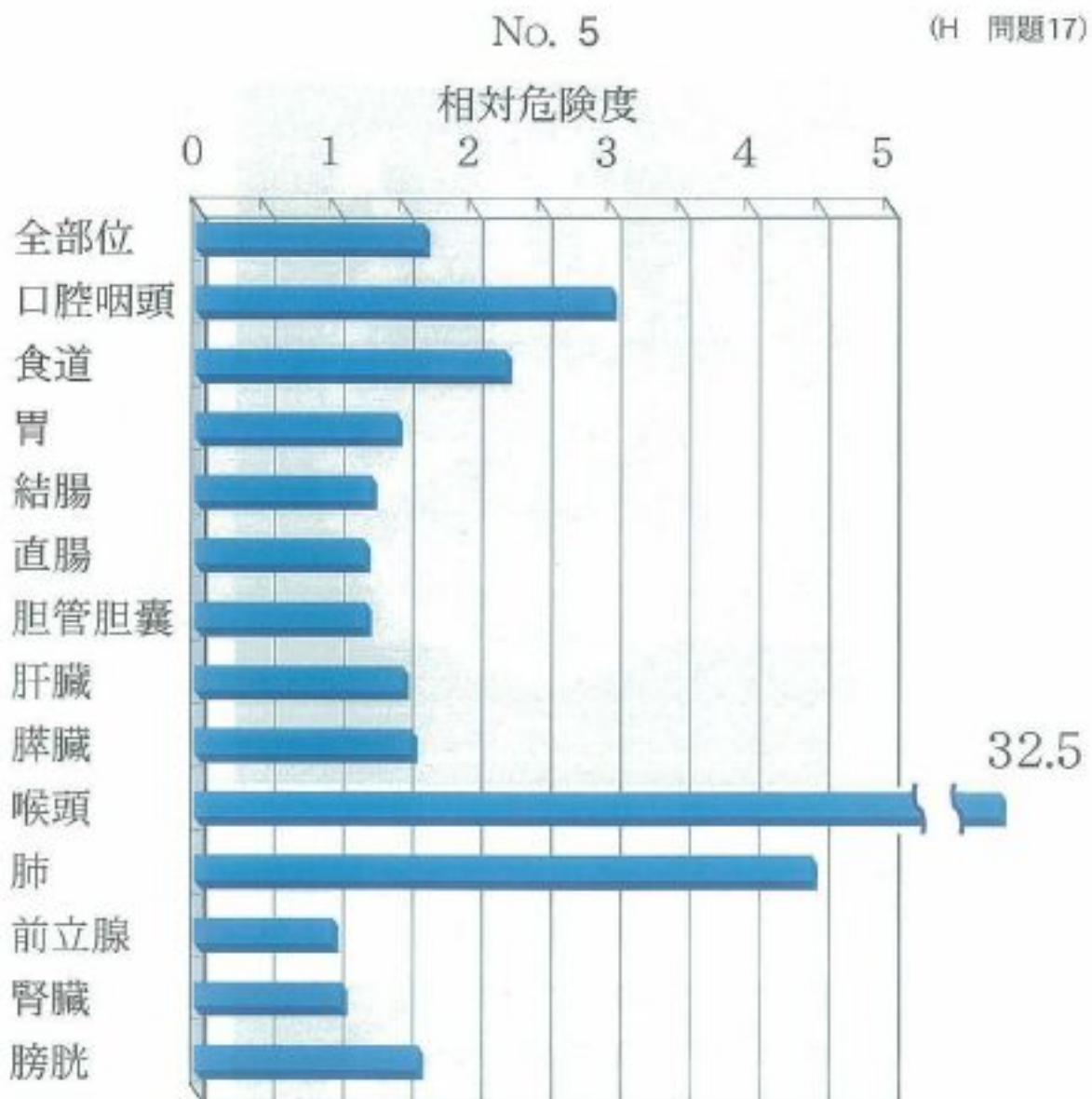
【問題ID:46】 第102回 グループ H No. 16 [必修] [一般]

生活に困窮している国民に医療を保障している制度はどれか。

- a 介護保険
- b 簡易保険
- c 国民年金
- d 生活保護
- e 国民健康保険

【問題ID:47】 第102回 グループ H No. 17 [必修] [一般]

ある生活習慣による臓器別の発がん相対危険度(No.5)を別に示す。
この生活習慣はどれか。



- a 香辛料大量摂取
- b 高脂肪食摂取
- c 食塩多量摂取
- d 喫煙
- e 飲酒

【問題ID:48】 第102回 グループ H No. 18 [必修] [一般]

PDCAサイクル<デミングサイクル>について正しいのはどれか。

- a 倫理指針
- b 診療録開示手順
- c 質改善の方法論
- d 医療廃棄物処理手順
- e 医療機関相互の診療情報提供手段

【問題ID:49】 第102回 グループ H No. 19 [必修] [一般]

高齢者の転倒で骨折が最も起こりやすいのはどれか。

- a 頭蓋骨
- b 鼻骨
- c 中手骨
- d 大腿骨
- e 中足骨

【問題ID:50】 第102回 グループ H No. 20 [必修] [一般]

インフォームドコンセントで正しいのはどれか。

- a 医師法で定められている。
- b 同意は無条件で撤回できる。
- c 時間をかけて説得が行われている。
- d 本人と家族の同意が必須である。
- e 治療法の予後の説明は割愛できる。

【問題ID:51】 第101回 グループ C No. 1 [必修] [一般]

治験について正しいのはどれか。

- a 治験の結果は非公開である。
- b 遺伝カウンセリングは必須である。
- c 臨床研究の倫理指針の遵守は十分条件である。
- d 治験終了時はIRB〈施設内倫理委員会〉に終了報告する。
- e 治験実施医療機関には個人情報管理者の設置が必須である。

【問題ID:52】 第101回 グループ C No. 2 [必修] [一般]

医学研究に関する世界医師会ヘルシンキ宣言について誤っているのはどれか。

- a 人類の健康を向上させ、守ることは、医師の責務であり、医師の知識と良心はこの責務達成のために捧げられる。
- b 被験者の福利に対する配慮よりも、多数者の福利向上を目指す科学的および社会的利益が優先される。
- c 自ら同意することができない又は拒否することができない人々に対しては、特別な注意が必要である。
- d 被験者の生命、健康、プライバシー及び尊厳を守ることは、医学研究に携わる医師の責務である。
- e 被験者は十分な説明を受けた上でその研究プロジェクトに参加する。

【問題ID:53】 第101回 グループ C No. 3 [必修] [一般]

診療録に関して誤っているのはどれか。

- a 電子媒体による保存が認められている。
- b 患者の請求があれば開示してよい。
- c 保存は医療機関内に限られる。
- d 見読性の確保が必要である。
- e 保存性の確保が必要である。

【問題ID:54】 第101回 グループ C No. 4 [必修] [一般]

死体検案で正しいのはどれか。

- a 監察医が専任で行う。
- b 異状死体が対象となる。
- c 解剖を行う行為を含む。
- d 遺族の承諾が必要である。
- e 検案後は警察への届出義務がある。

【問題ID:55】 第101回 グループ C No. 5 [必修] [一般]

患者の権利でないのはどれか。

- a 自分の病状について家族に知らせないよう医師に求める権利

- b 医師が示した見解に対して他の医師の意見を求める権利
- c 診療録中の記載の誤りを医師に訂正するよう求める権利
- d 医学的に妥当でない治療でも医師から受ける権利
- e 真実を知ることを放棄する権利

【問題ID:56】 第101回 グループ C No. 6 [必修] [一般]

成人患者が手術の当日に「手術は死んでもいやです」と担当看護師に訴えている旨の報告を受けた。既に、手術について説明し同意は得られている。担当医の対応として適切なのはどれか。

- a 予定どおり手術を行う。
- b 手術以外の治療法を考える。
- c ほかの病院への転院を勧める。
- d 患者の説得を家族に依頼する。
- e 患者から直接話を聴いてから判断する。

【問題ID:57】 第101回 グループ C No. 7 [必修] [一般]

分娩経過に影響しないのはどれか。

- a 骨産道
- b 軟産道
- c 胎向
- d 胎位
- e 胎勢

【問題ID:58】 第101回 グループ C No. 8 [必修] [一般]

正常新生児で正しいのはどれか。

- a 主に胸式呼吸である。
- b 体重は出生直後から増加する。
- c 体重当たりの体表面積は成人より狭い。
- d 体液量に占める細胞外液量の割合は成人より高い。
- e 胎児ヘモグロビンは成人ヘモグロビンより酸素親和性が低い。

【問題ID:59】 第101回 グループ C No. 9 [必修] [一般]

成人の安静時で異常値はどれか。

- a 血圧……………116/78mmHg
- b 呼吸数……………28/分
- c 体温……………36.5℃
- d 脈拍……………68/分
- e 経皮的動脈血酸素飽和度…98%

【問題ID:60】 第101回 グループ C No. 10 [必修] [一般]

一般外来における初診患者に対し、本人の確認を行った後の医師の発言として適切なのはどれか。

- a 「これまでに大きな病気にかかったことがありますか」
- b 「家族に大きな病気にかかった方がおられますか」
- c 「今日はどんなことでおいでになりましたか」
- d 「現在の症状を手短に述べていただけますか」
- e 「どこか痛いところがありますか」

【問題ID:61】 第101回 グループ C No. 11 [必修] [一般]

医療面接での医師の態度として適切なのはどれか。

- a 患者の要求はすべて受け入れる。
- b 答えにくい質問の時は話題を変える。
- c できるだけ視線を合わせないようにする。
- d 患者の感情の動きを受け入れるようにする。
- e 沈黙が起こった時は、まず医師から話しかける。

【問題ID:62】 第101回 グループ C No. 12 [必修] [一般]

嗄声について正しいのはどれか。

- a 咳ができる。
- b 息がしにくい。
- c 高調な声である。
- d 呂律が回らない。

e 大きな声が出せる。

【問題ID:63】 第101回 グループ C No. 13 [必修] [一般]

癌の転移によるリンパ節腫脹の特徴はどれか。

- a 軟らかい。
- b 圧痛がない。
- c 可動性がある。
- d 皮膚に熱感がある。
- e 相互の癒合がない。

【問題ID:64】 第101回 グループ C No. 14 [必修] [一般]

膨疹の特徴はどれか。

- a 浮腫
- b 苔癬化
- c 色素沈着
- d 水疱形成
- e 鱗屑付着

【問題ID:65】 第101回 グループ C No. 15 [必修] [一般]

症候と病態の組合せで誤っているのはどれか。

- a 嗄声……反回神経麻痺
- b 咯血……肺アスペルギルス症
- c 喘鳴……間質性肺炎
- d 呼吸困難……低酸素血症
- e 顔面浮腫……上大静脈閉塞

【問題ID:66】 第101回 グループ C No. 16 [必修] [一般]

v痒を生じることが多いのはどれか。

- a アルコール性肝障害

- b 原発性胆汁性肝硬変
- c 慢性肝炎
- d 急性膵炎
- e 胆石症

【問題ID:67】 第101回 グループ C No. 17 [必修] [一般]

蛋白尿について正しいのはどれか。

- a 蛋白で尿は混濁する。
- b 造影剤投与で偽陽性を示す。
- c 成分の大部分はグロブリンである。
- d 起立時の蛋白尿は腎生検の適応となる。
- e 尿蛋白量は慢性糸球体腎炎の予後に影響する。

【問題ID:68】 第101回 グループ C No. 18 [必修] [一般]

脱水の症候として特徴的なのはどれか。

- a 口渇
- b 徐脈
- c 血圧上昇
- d 呼吸困難
- e チアノーゼ

【問題ID:69】 第101回 グループ C No. 19 [必修] [一般]

新生児の呼吸困難を表す症候はどれか。

- a 呻吟
- b 嘔声
- c 傾眠傾向
- d 四肢の冷感
- e 筋緊張低下

【問題ID:70】 第101回 グループ C No. 20 [必修] [一般]

胎児発育に必須の胎児臓器はどれか。

- a 脳
- b 肺
- c 心臓
- d 小腸
- e 腎臓

【問題ID:71】 第101回 グループ C No. 21 [必修] [一般]

III音の聴取で正しいのはどれか。

- a I音の前後に注目する。
- b 左側臥位で聴取しやすい。
- c 聴診器は膜型を使用する。
- d 下肢を挙上すると減弱する。
- e 胸骨左縁第4肋間で最強となる。

【問題ID:72】 第101回 グループ C No. 22 [必修] [一般]

打診で鼓音を呈するのはどれか。

- a 肺炎
- b 肺気腫
- c 無気肺
- d 肺水腫
- e 肺線維症

【問題ID:73】 第101回 グループ C No. 23 [必修] [一般]

筋性防御を伴わないのはどれか。

- a 十二指腸潰瘍穿孔
- b 麻痺性イレウス
- c 汎発性腹膜炎
- d 急性胆嚢炎
- e 急性虫垂炎

【問題ID:74】 第101回 グループ C No. 24 [必修] [一般]

徒手筋力テストで重力に抗して完全に運動できる最小の段階はどれか。

- a 5〈Normal〉
- b 4〈Good〉
- c 3〈Fair〉
- d 2〈Poor〉
- e 1〈Trace〉

【問題ID:75】 第101回 グループ C No. 25 [必修] [一般]

「イー」と言わせたととき、口角に左右差がみられる患者が障害を受けているのはどれか。

- a 第IV脳神経
- b 第V脳神経
- c 第VI脳神経
- d 第VII脳神経
- e 第VIII脳神経

【問題ID:76】 第101回 グループ C No. 26 [必修] [一般]

10か月の乳児の発達評価に適しているのはどれか。

- a 深部反射
- b 姿勢反射
- c 原始反射
- d 病的反射
- e 表在反射

【問題ID:77】 第101回 グループ C No. 27 [必修] [一般]

溶血が検査値に影響を与えるのはどれか。

- a LDH
- b 尿酸

- c 中性脂肪
- d ナトリウム
- e カルシウム

【問題ID:78】 第101回 グループ C No. 28 [必修] [一般]

免疫法による便潜血検査の特徴はどれか。

- a 保存条件の影響を受けにくい。
- b 腸内細菌の影響を受けにくい。
- c 食事制限が必要である。
- d 特異度が高い。
- e 感度が低い。

【問題ID:79】 第101回 グループ C No. 29 [必修] [一般]

急性上部消化管出血の診断で、上部内視鏡検査の感度は90%、特異度は95%である。上部内視鏡検査で出血が陽性のときの尤度比はどれか。

- a 0.95
- b 1.06
- c 18
- d 90
- e 95

【問題ID:80】 第101回 グループ C No. 30 [必修] [一般]

関節痛患者の診断について、指導医が「この検査が陰性なら、SLEは考えにくい」と話していた。この検査で正しいのはどれか。

- a 感度は低い。
- b 感度は高い。
- c 特異度は高い。
- d 特異度は低い。
- e 感度と特異度はほぼ等しい。

【問題ID:81】 第101回 グループ C No. 31 [必修] [一般]

事前確率が変わると変化するのはどれか。

- a 感度
- b 特異度
- c 適中度
- d ROC曲線
- e 偽陰性率

【問題ID:82】 第101回 グループ C No. 32 [必修] [一般]

血液検査で食後に増加しないのはどれか。

- a クレアチニン
- b β -リポ蛋白
- c インスリン
- d 中性脂肪
- e 血糖

【問題ID:83】 第101回 グループ C No. 33 [必修] [一般]

頭部単純CT(別冊No.1)を別に示す。

診断はどれか。

No. 1

(C 問題33)



- a 脳出血
- b 脳梗塞
- c くも膜下出血
- d 急性硬膜外血腫
- e 急性硬膜下血腫

【問題ID:84】 第101回 グループ C No. 34 [必修] [一般]

AEDを用いた除細動に関して正しいのはどれか。

- a 医学生はAEDを使用してはいけない。

- b 呼吸がある場合はAEDを装着しない。
- c 汗で胸がぬれている場合は拭いてからAEDを装着する。
- d AEDを装着する前に胸骨圧迫式心マッサージを10分間行う。
- e AEDを装着した状態で胸骨圧迫式心マッサージを行ってはいけない。

【問題ID:85】 第101回 グループ C No. 35 [必修] [一般]

駅の構内で中年男性が倒れているのを発見した。まず行うのはどれか。

- a 脈の触知
- b 呼吸の確認
- c 気道の確保
- d 意識状態の確認
- e 対光反射の確認

【問題ID:86】 第101回 グループ C No. 36 [必修] [一般]

肝硬変の検査所見で正しいのはどれか。

- a 血小板増加
- b プロトロンビン時間延長
- c アルブミン増加
- d γ -グロブリン減少
- e コリンエステラーゼ増加

【問題ID:87】 第101回 グループ C No. 37 [必修] [一般]

片頭痛でみられないのはどれか。

- a 拍動性頭痛
- b 視覚の異常
- c 音への過敏
- d 悪心・嘔吐
- e けいれん

【問題ID:88】 第101回 グループ C No. 38 [必修] [一般]

仕事ができないという患者の訴えで、うつ病の可能性が高いのはどれか。

- a 「やりたくないので仕事のことは考えないようにしています」
- b 「やらないといけないのですが頭が回りません」
- c 「上司にすぐ怒られるので、したくありません」
- d 「この仕事は自分にはあっていません」
- e 「ものを考えるとすぐ眠くなります」

【問題ID:89】 第101回 グループ C No. 39 [必修] [一般]

特発性てんかんで正しいのはどれか。

- a 環境要因が原因として重要である。
- b 脳腫瘍が原因となることがある。
- c 有病率は10%である。
- d 幼小児期の発症が多い。
- e 女性に多い。

【問題ID:90】 第101回 グループ C No. 40 [必修] [一般]

清潔に手袋を装着する操作(別冊No.2①～⑤)を別に示す。
適切でないのはどれか。

No. 2

(C 問題40)

①



②



③



④



⑤



a ①

b ②

c ③

d ④

e ⑤

【問題ID:91】 第101回 グループ C No. 41 [必修] [一般]

中間型インスリン製剤の正しい注射部位はどれか。

- a 皮内
- b 皮下
- c 筋肉
- d 静脈
- e 動脈

【問題ID:92】 第101回 グループ C No. 42 [必修] [一般]

褥瘡への対応で正しいのはどれか。

- a 1週ごとの観察
- b 1か月ごとの栄養管理
- c 8時間ごとの体位変換
- d 壊死組織のデブリドマン
- e ホルムアルデヒドによる洗浄

【問題ID:93】 第101回 グループ C No. 43 [必修] [一般]

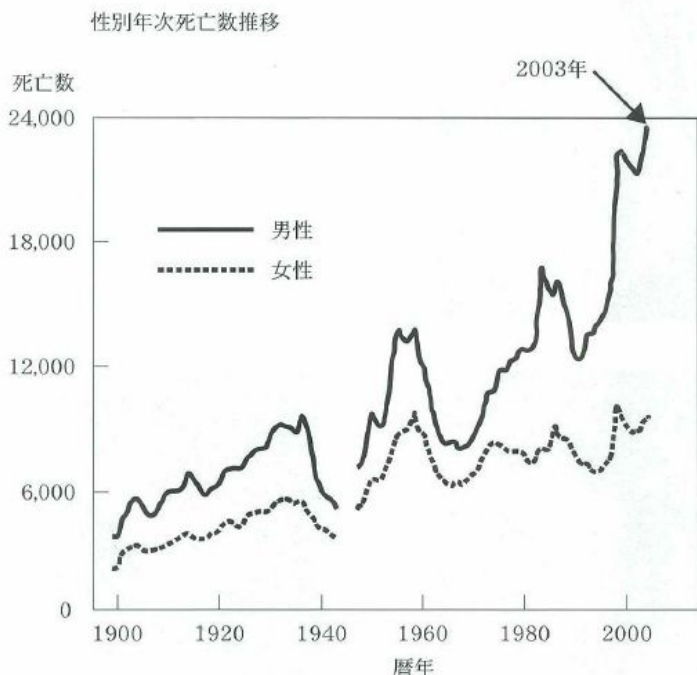
地域医療現場におけるチーム医療で適切なのはどれか。

- a 医師の意見が最優先される。
- b 患者の家族もチームの一員である。
- c 事務職員を入れるのは不適切である。
- d 合同カンファレンスの開催は重要ではない。
- e それぞれの役割に干渉しないことが重要である。

【問題ID:94】 第101回 グループ C No. 44 [必修] [一般]

ある死因の性別年次死亡者数推移(別冊No.3A)と都道府県別死亡率(別冊No.3B)とを別に示す。死因はどれか。

No. 3 A (C 問題44)



No. 3 B (C 問題44)



- a がん
- b 自殺
- c 心疾患
- d 糖尿病
- e 不慮の事故

【問題ID:95】 第101回 グループ C No. 45 [必修] [一般]

不眠を訴える患者の生活指導で適切なのはどれか。

- a 就床直前に長く入浴する。
- b 日光をできるだけ浴びない。
- c 日中はできるだけ仮眠しない。
- d 就床直前に激しい運動をする。
- e 夕食はできるだけ遅い時刻に摂る。

【問題ID:96】 第101回 グループ C No. 46 [必修] [一般]

成人患者の自己決定権を尊重する理由はどれか。

- a 医師法の応招義務のため
- b 医事訴訟での責任回避のため
- c 患者の説得には時間がかかるため
- d ヘルシンキ宣言に規定があるため
- e 患者の価値判断を最優先するため

【問題ID:97】 第101回 グループ C No. 47 [必修] [一般]

行動変容の援助に当たって望ましくないのはどれか。

- a 患者自身の考えや思いを聞く。
- b 患者が努力していることを前向きに評価する。
- c 患者の甘えを断ち切るような高い行動目標を設定する。
- d 具体的に取り組みそうなことを患者自身に考えるように促す。
- e 低下した自己効力感に働きかけ、今度はやってみようという意欲を促す。

【問題ID:98】 第101回 グループ C No. 48 [必修] [一般]

組合せで誤っているのはどれか

- a 医療の質の確保……クリニカルパス
- b 患者の安全……転落防止柵
- c 医療者の安全……針刺し事故防止策
- d 院内感染対策……抗菌薬の適正使用
- e 血液製剤の使用……PDCAサイクル(デミングサイクル)

【問題ID:99】 第101回 グループ C No. 49 [必修] [一般]

日本とアメリカ、ドイツ、フランスおよびイギリスとの国際比較で、日本について正しいのはどれか。

- a 平均在院日数が最短
- b 人口1,000人当たりの病床数が最少
- c 国内総生産(GDP)に対する国民医療費が最大
- d 自殺率(人口10万人当たりの自殺者数)が最高
- e 高齢化率(65歳以上人口の総人口に対する比率)が最低

【問題ID:100】 第101回 グループ C No. 50 [必修] [一般]

死にゆく人の心の動きを、否認、怒り、取引き、抑うつ、受容の5段階で表し、ターミナルケアの在り方に影響を与えた作品“On death and dying”(死ぬ瞬間)の著者は誰か。

- a Mother Teresa(マザー・テレサ)
- b William Osler(ウィリアム・オスラー)
- c Helen Adams Keller(ヘレン・アダムス・ケラー)
- d Albert Schweitzer(アルベルト・シュバイツァー)
- e Elisabeth Kubler-Ross(エリザベス・キューブラー-ロス)

(3) 解答・解説参考書籍

問題ID	実施回 /グループ /No.	解答	解説参考書籍
1	102/C/1	E	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 72ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 20ページ
2	102/C/2	E	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 6ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 6ページ
3	102/C/3	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 63ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 74ページ
4	102/C/4	C	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 41ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 43ページ
5	102/C/5	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.5] U (精神科) 12ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.5] U (精神科) 12ページ
6	102/C/6	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 287ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 271ページ
7	102/C/7	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.1] C (心臓・脈管疾患) 362ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.1] C (心臓・脈管疾患) 356ページ
8	102/C/8	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.2] H (感染症) 181ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.2] H (感染症) 170ページ
9	102/C/9	C	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 146ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 212ページ
10	102/C/10	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] L (救急医学) 123ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] L (救急医学) 119ページ
11	102/C/11	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.2] E (腎・泌尿器疾患) 181ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.2] E (腎・泌尿器疾患) 171ページ
12	102/C/12	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 119ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 132ページ
13	102/C/13	D	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 84ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 85ページ
14	102/C/14	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 90ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 105ページ
15	102/C/15	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 165ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 175ページ
16	102/F/1	E	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 4ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 4ページ
17	102/F/2	E	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 21ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 16ページ

18	102/F/3	A	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 49ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 51ページ
19	102/F/4	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 78ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 87ページ
20	102/F/5	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.1] A (消化管・腹壁・腹膜疾患) 308ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.1] A (消化管・腹壁・腹膜疾患) 300ページ
21	102/F/6	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.4] P (産科) 332ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.4] P (産科) 318ページ
22	102/F/7	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.4] Q (婦人科) 11ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.4] Q (婦人科) 12ページ
23	102/F/8	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.2] G (血液・造血器疾患) 201ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.2] G (血液・造血器疾患) 196ページ
24	102/F/9	D	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 149ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 203ページ
25	102/F/10	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.1] C (心臓・脈管疾患) 346ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.1] C (心臓・脈管疾患) 342ページ
26	102/F/11	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 127ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 139ページ
27	102/F/12	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 111ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 125ページ
28	102/F/13	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 89ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 103ページ
29	102/F/14	E	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 2ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 5ページ
30	102/F/15	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 165ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 177ページ
31	102/H/1	A	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 5ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 5ページ
32	102/H/2	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.5] T (整形外科) 14ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.5] T (整形外科) 14ページ
33	102/H/3	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 84ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 97ページ
34	102/H/4	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.1] A (消化管・腹壁・腹膜疾患) 384ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.1] A (消化管・腹壁・腹膜疾患) 373ページ
35	102/H/5	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.4] Q (婦人科) 230ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.4] Q (婦人科) 223ページ
36	102/H/6	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.1] A (消化管・腹壁・腹膜疾患) 314ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.1] A (消化管・腹壁・腹膜疾患) 304ページ
37	102/H/7	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 96ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 111ページ
38	102/H/8	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.2] D (内分泌・代謝・腹膜疾患) 241ページ

			QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.2] D (内分泌・代謝・腹膜疾患) 241ページ
39	102/H/9	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 313ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 295ページ
40	102/H/10	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 112ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 125ページ
41	102/H/11	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.4] O (小児科) 35ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.4] O (小児科) 32ページ
42	102/H/12	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] I (呼吸器・胸壁・縦隔疾患) 371ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] I (呼吸器・胸壁・縦隔疾患) 364ページ
43	102/H/13	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.5] X (放射線科) 41ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.5] X (放射線科) 42ページ
44	102/H/14	D	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 290ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 303ページ
45	102/H/15	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 126ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 138ページ
46	102/H/16	D	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 108ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 105ページ
47	102/H/17	D	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 216ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 176ページ
48	102/H/18	C	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 23ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 25ページ
49	102/H/19	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.5] T (整形外科) 37ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.5] T (整形外科) 32ページ
50	102/H/20	B	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 8ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 7ページ
51	101/C/1	D	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 19ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 15ページ
52	101/C/2	B	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 6ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 5ページ
53	101/C/3	C	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 37ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 46ページ
54	101/C/4	B	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 50ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 51ページ
55	101/C/5	D	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 3ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 3ページ
56	101/C/6	E	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 11ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 9ページ
57	101/C/7	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.4] P (産科) 294ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.4] P (産科) 280ページ
58	101/C/8	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.4] O (小児科) 79ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.4] O (小児科) 75ページ

59	101/C/9	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 103ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 118ページ
60	101/C/10	C	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 99ページ
61	101/C/11	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 85ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 97ページ
62	101/C/12	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.5] S (耳鼻咽喉科) 92ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.5] S (耳鼻咽喉科) 95ページ
63	101/C/13	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 161ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 171ページ
64	101/C/14	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.5] V (皮膚科) 15ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.5] V (皮膚科) 14ページ
65	101/C/15	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] I (呼吸器・胸壁・縦隔疾患) 331ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] I (呼吸器・胸壁・縦隔疾患) 325ページ
66	101/C/16	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.1] B (肝・胆・膵・脾疾患) 258ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.1] B (肝・胆・膵・脾疾患) 256ページ
67	101/C/17	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.2] E (腎・泌尿器疾患) 144ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.2] E (腎・泌尿器疾患) 135ページ
68	101/C/18	A	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 95ページ
69	101/C/19	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.4] O (小児科) 101ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.4] O (小児科) 95ページ
70	101/C/20	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.4] P (産科) 199ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.4] P (産科) 188ページ
71	101/C/21	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.1] C (心臓・脈管疾患) 368ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.1] C (心臓・脈管疾患) 363ページ
72	101/C/22	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] I (呼吸器・胸壁・縦隔疾患) 333ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] I (呼吸器・胸壁・縦隔疾患) 327ページ
73	101/C/23	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.1] A (消化管・腹壁・腹膜疾患) 323ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.1] A (消化管・腹壁・腹膜疾患) 312ページ
74	101/C/24	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.5] T (整形外科) 17ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.5] T (整形外科) 16ページ
75	101/C/25	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 286ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 270ページ
76	101/C/26	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.4] O (小児科) 13ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.4] O (小児科) 13ページ
77	101/C/27	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.2] G (血液・造血器疾患) 230ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.2] G (血液・造血器疾患) 225ページ
78	101/C/28	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 115ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 128ページ
79	101/C/29	C	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 157ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 221ページ
80	101/C/30	B	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 163ページ

			QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 216ページ
81	101/C/31	C	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 163ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 216ページ
82	101/C/32	A	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 107ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 121ページ
83	101/C/33	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 445ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 424ページ
84	101/C/34	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] L (救急医学) 127ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] L (救急医学) 125ページ
85	101/C/35	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] L (救急医学) 120ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] L (救急医学) 119ページ
86	101/C/36	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.1] B (肝・胆・膵・脾疾患) 300ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.1] B (肝・胆・膵・脾疾患) 298ページ
87	101/C/37	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 422ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 400ページ
88	101/C/38	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.5] U (精神科) 56ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.5] U (精神科) 55ページ
89	101/C/39	D	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 334ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] J (神経・精神・運動疾患) 314ページ
90	101/C/40	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 132ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 141ページ
91	101/C/41	B	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.2] D (内分泌・代謝・腹膜疾患) 304ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.2] D (内分泌・代謝・腹膜疾患) 304ページ
92	101/C/42	D	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 84ページ
93	101/C/43	B	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 85ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 86ページ
94	101/C/44	B	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 185ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 239ページ
95	101/C/45	C	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.5] U (精神科) 123ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.5] U (精神科) 119ページ
96	101/C/46	E	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 10ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 8ページ
97	101/C/47	C	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 209ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 169ページ
98	101/C/48	E	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 23ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 25ページ
99	101/C/49	D	QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.6] Y (公衆衛生) 191ページ QB 医師国家試験問題解説 2008 [vol.6] Y (公衆衛生) 244ページ
100	101/C/50	E	QB 医師国家試験問題解説 2010 [vol.3] N (医学総論) 166ページ QB 医師国家試験問題解説 2009 [vol.3] N (医学総論) 176ページ